

科目名 Subject	生命活動概論 Introduction to Biological Activity		教員名	永松 俊哉	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1単位
必修/選択	必修	授業形態	講義	時間	30時間
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	○	○
科目の概要	良好な健康状態を保つためには、様々な環境変化に対して心身が柔軟に適応することが重要である。その適応性のしくみを知ることは、質の高い美容を目指す上で大切な知識となる。本科目では、生命活動、ホメオスタシス、ストレス反応、自然治癒力、およびそれらの内容と美容の関連性について学ぶ。				
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生命とは何か説明できる。 ・ホメオスタシスとは何か説明できる。 ・ストレスとは何か説明できる。 ・美容との関係を踏まえてホメオスタシスやストレスを制御する仕組みについて説明できる。 				
時間外学習 (予習・復習)	各回の授業内容の復習、及び次回の内容に関する予習を1時間程度実施する。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	「レポート40%、定期試験 60%」				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・グループや個人で、課題に対する意見を発表する。 ・他者の意見に傾聴し、適宜意見や感想を述べる。 				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	講義の進め方、概要を理解する。	生命とは何か概要について調べる。
第2回	生命の起源について学ぶ。	生命の定義や生命の起源を説明できる。	今回の復習をし、体温調節のしくみを調べる。
第3回	体温調節について学ぶ。	自分自身に起こる体温調節のしくみを説明できる。	今回の復習をし、血糖調節のしくみを調べる。
第4回	血糖調節について学ぶ。	自分自身に起こる血糖調節のしくみを説明できる。	今回の復習をし、塩化ナトリウム調節のしくみを調べる。
第5回	塩化ナトリウム調節について学ぶ。	自分自身に起こる塩分濃度調節のしくみを説明できる。	今回の復習をし、血中カルシウム調節のしくみを調べる。
第6回	血中カルシウム調節について学ぶ。	自分自身に起こる血中カルシウム濃度調節のしくみを説明できる。	今回の復習をし、ホメオスタシスを維持する抹消のしくみを調べる。
第7回	ホメオスタシスを維持する抹消の機能について学ぶ。	皮膚、細胞、神経の作用を説明できる。	今回の復習をし、ホメオスタシスと神経・内分泌系の関係を調べる。
第8回	ホメオスタシスと神経・内分泌系のしくみについて学ぶ。	自律神経・内分泌器官の作用を説明できる。	今回の復習をし、ホメオスタシスと免疫系の関係を調べる。
第9回	ホメオスタシスと免疫系のしくみについて学ぶ。	免疫のしくみと役割を説明できる。	今回の復習をし、免疫系とアレルギーの特徴を調べる。
第10回	免疫系とアレルギーのしくみについて学ぶ。	免疫系とアレルギーの違いを説明できる。	今回の復習をし、ホメオスタシスとストレスの関係を調べる。
第11回	ホメオスタシスとストレスのしくみについて学ぶ。	各種ストレスがホメオスタシスを乱すしくみを説明できる。	今回の復習をし、心理的ストレスの概要を調べる。
第12回	心理的ストレスについて学ぶ。	心理的ストレスの心身への様々な影響を説明できる。	今回の復習をし、ストレスと病気の関係性を調べる。
第13回	ストレスと病気の関係について学ぶ。	ストレスによって生じる心身の病気について説明できる。	今回の復習をし、ストレス対処行動の概要を調べる。
第14回	ストレス対処行動について学ぶ。	ストレス対処行動の種類と効果について説明できる。	今回の復習をし、生体反応の時間軸の概要を調べる。
第15回	生体反応時間軸について学び、全体のまとめを行う。	生体反応の時間構造と美容施術の効果の関係を説明できる。	全体のまとめをする。